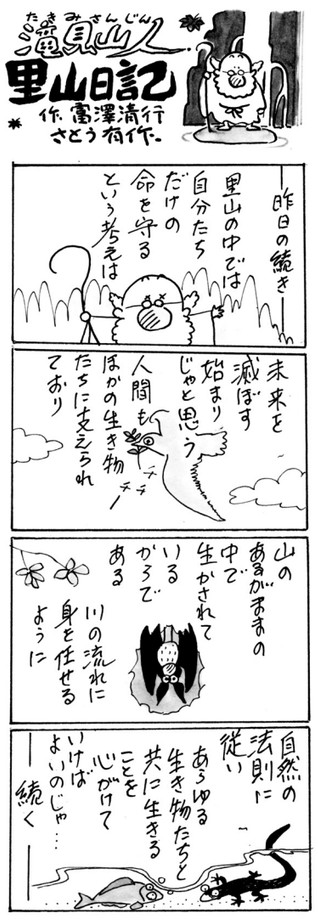
県南



皆さまからの情報をお待ちしております。
E-mail c-nippo@chibanippo.co.jp

市原支局
TEL FAX
0436(24)8201
●市原市

かずさ支局
TEL FAX
0438(25)0323
●袖ケ浦市
●木更津市
●君津市
●富津市

茂原支局
TEL FAX
0475(25)6628
●茂原市
●一宮町
●睦沢町
●白子町
●長柄町
●長南町
●長生村

勝浦支局
TEL FAX
0470(64)1177
●勝浦市
●いすみ市
●大多喜町
●御宿町

館山・鴨川支局
TEL FAX
0470(23)9669
●館山市
●鴨川市
●南房総市
●鋸南町

秘湯の宿 滝見苑
ご予約は TEL.0470-85-0101
http://www.takimi.co.jp
〒298-0277 夷隅郡大多喜町粟又5

山梨の杉山さん大賞

芥川龍之介恋文コンテスト　ゆかりの一宮館で表彰式

今年のコンテストには340点が寄せられ、表彰式会場では入賞作品14点が朗読された＝11日、一宮町の一宮館

大切な人への思いをつづった「芥川龍之介恋文大賞コンテスト」（千葉日報社など後援）の表彰式が11日、芥川ゆかりの宿として知られる一宮町の一宮館で開かれた。全国から340点の応募があり、大賞には母親への思いを込めた山梨県の杉山優さんの作品が選ばれた。

長生村にある社会福祉法人「愛の友協会」（寺門栄理事長）がコンテストを主催し、今年で5回目を迎えた。青年期の芥川が一宮館に滞在して恋文を書いたことにちなみ、恋人や家族、友人といった大切な人に届けたいメッセージを募集。芥川の孫でエッセイストの芥川耿子さんらが作品を審査した。

表彰式で寺門理事長は「これからも文章を通じて愛する心を伝える活動を続けていきたい」とあいさつ。大賞など14点が選ばれ、受賞者に表彰状が贈られた。

◇受賞者は次の通り。（敬称略）

大賞＝杉山優▽一宮館主賞＝感王寺美智子▽一宮町長賞＝名上敬子▽長生村長賞＝山田和彦▽千葉日報社長賞＝新井悦子▽千葉テレビ放送賞＝小田中準一▽合同資源みらい賞＝阿部真友子、川村均、上野美子、井上舞▽一宮町社会福祉協議会長賞＝宇都宮千瑞子▽千葉銀行一宮支店長賞＝林香織▽特別審査員賞＝桂川好美▽愛の友協会後援会長賞＝下妻恭子

「木更津県」存在知って

選擇寺　権令、柴原和の詩碑建立

後の初代県知事しのぶ

完成した柴原和の詩碑と案内板を見る選擇寺の役員ら＝11日、木更津市

木更津市中央の選擇寺（せんちゃくじ）に、明治時代の初代千葉県令（県知事）、柴原和（やわら）の詩碑が完成し、11日に除幕式が開かれた。柴原は県令になる前、約2年間だけ存在した木更津県の権令を務めた人物で、当時は同寺を宿舎として同市貝渕にあった県庁に通っていた。柴原にゆかりある同寺の役員らが、県南の政治の拠点だった木更津の歴史を知ってもらおうと建立した。

木更津県は、1871（明治4）年に設置され、上総、安房地域を管轄。73（明治6）年に印旛県と統合し千葉県が誕生した。柴原は、木更津県の権令を務めた際に同寺を宿舎とし、後に初代千葉県令に就任した。

同寺によると、建立した碑（縦約2メートル10センチ、横約60センチ）には、寺所蔵の柴原の詩書を複写し刻んだ。

詩書は、県令を退いた柴原が86（明治19）年に同寺を再訪した際、かつて詠んだ詩をしたためた作品とみられ、訳すと「あたりを見回すと不吉な気が山河に満ちあふれている」という言葉から始まる。

柴原和（選擇寺提供）

同寺の山本恵司住職（61）は、柴原が県を治めることに苦慮した当時を思い出して記した書で、江戸時代から明治時代になったばかりの〝不穏〟な情勢を反映したものだとみる。

詩碑の隣には案内板も設置した。同寺は、木更津の町並みや歴史を紹介するボランティアガイドが立ち寄る場所でもあるといい、山本住職は「碑があれば説明もしやすい。観光振興の一助になれば」と展望。今年は明治改元から150年の節目でもあり、「明治時代に木更津県があったことを知らない人も多い。明治政府が木更津を重要拠点としていたことを知ってほしい」と話していた。

いすみ鉄道に感謝　駅にパンジー植栽

大多喜高の3年生

通学で利用してきたいすみ鉄道に感謝の気持ちを表そうと、県立大多喜高校の3年生11人が城見ケ丘駅で丹精込めて育てたパンジーの花を植栽した＝写真。

同校の鉄道支援活動の一環。パンジーは2学期始めに種をまき、白や紫、黄色の鮮やかな花を咲かせた約50株を持ち込んだ。

大多喜町がプランター10個を用意。生徒は素手やスコップで穴を掘ると、一株ずつ丁寧に差し込み、ホーム各所に飾った。

列車通学していた渡辺悠花さん（18）は「沿線に住んでいて普段からお世話になっている。協力できてよかった」と笑顔で話した。

「最後はみんなで笑おう」

VONDS市原出陣式　JFL昇格へ強い決意

市原市のスポーツクラブ「市民クラブVONDS市原」の今季の出陣式が10日夜、市原市五井の五井グランドホテルで開かれた。サッカートップチームのVONDS市原FCは創立以来目標とするJFL昇格に向け、サポーターら約200人に強い決意を示した。

公開された新ユニホーム。トップチームはJFL昇格への決意を新たにした＝10日夜、市原市五井の五井グランドホテル

式の開催に当たり、運営法人「VONDS市原」の祖母井秀隆社長が今季の抱負として「市原のまちを元気にしたい」とあいさつ。来賓代表の小出譲治市長はJリーグで大きな功績を残した祖母井社長の手腕に期待し、「JFL昇格を信じている」と激励した。

新加入選手や新ユニホームの紹介に続き、キャプテンの藤本修司選手が昇格を目前のところで逃した昨季を踏まえ、「最後はみんなで笑い合えるよう頑張る」と決意表明。社会人チームとアカデミーチームの代表者も今季の飛躍を誓った。

関東1部リーグで戦うトップチームの開幕戦は4月1日午後4時から、同市岩崎のゼットエーオリプリスタジアムで、流通経済大学FCを相手に行われる。

竹灯籠が照らす夕暮れの城下町

大多喜で初イベント　演奏や踊りも

大多喜町の城下町通り商店街周辺で10日夕、「大多喜城下春の陣」と銘打ったイベントが開かれた。

町内で活動する5団体が町の活性化を狙って初めて企画。来場者は各団体の華麗な演舞を楽しむとともに、会場を照らす竹灯籠の幻想的な光に酔いしれた。

特設ステージでは、団体のメンバーが演奏に合わせて踊りを披露。スイーツや軽食を扱う出店もにぎわった。竹灯籠は夕暮れとともに点火、城下町の町並みをほのかに浮かび上がらせた。

町内から家族と一緒に来ていた嶋野麗奈さん（25）は「初めて竹灯籠を見た。きれいで感動した」とうれしそうだった。

イベントは昨夏、同所で行われた「子ども夏祭り」が盛況だったこともあり、親子が楽しめる企画として〝夜の部〟を開いた。

会場には和柄が彫られた竹灯籠が飾られ、来場者は幻想的な雰囲気を満喫した＝10日、大多喜町

棋王戦

本戦準決勝　第1局

【第4譜】（図は△2四角まで）

第43期

先▲五段　黒沢　怜生
△九段　三浦　弘行

持時間各4時間（指手67）
▲2時間56分
△2時間10分

▲黒沢　歩二
△三浦　な九

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	桂					金	桂	王	一
	飛						銀	香	二
歩		歩		歩	金		歩	歩	三
			歩	銀		歩	角		四
		歩			桂			歩	五
	歩	飛	歩	歩	歩	歩			六
歩				銀			歩		七
	角			金		銀	玉		八
香	桂				金			香	九

▲7九角80
△3五歩1
▲同歩1
△同角
▲4七金28
△4四歩42
▲5五歩1
△6三銀
▲5三桂成1
△同金
▲2六歩2
△2四角10
▲3六金3
△4三金13
▲5六銀4
△5一角9
▲3五歩8
△5二銀6
▲2七銀4
△4一銀2
▲3八金
△3二銀2
▲5七角1
△4二角1
▲6八角3

【指了図】（図は▲6八角まで）

▲黒沢　歩三
△三浦　桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	桂					金	桂	王	一
	飛				角	銀	銀	香	二
歩		歩			金		歩	歩	三
			歩		歩				四
		歩		歩		歩		歩	五
	歩	飛	歩	銀	歩	金	歩		六
歩							銀		七
	角					金	玉		八
香	桂							香	九

工夫が失敗

図の局面で正午を迎えて、昼食休憩に入った。昼食の注文は、三浦が若鶏唐揚げ定食（唐揚げ増量）、黒沢が肉豆腐定食だった。両者とも将棋飯で有名な「みろく庵」に注文した。

本棋戦は持ち時間が各4時間で、夕食休憩がない。両者が持ち時間をフルに使う展開になると、午後8時を過ぎることも。さらにそのあと感想戦があるため、すべて終わると午後10時近くになってしまう。終盤戦に備え、しっかり食べておくのも戦いのうちといえる。

黒沢は昼食をすぐに済ませられてしまうのである。

40分間の昼食休憩が終わって同歩に△8四桂で飛車が生け捕桂と跳ねてしまうと△4五銀▲7九角とした。前譜で紹介した△8七銀の両取りを防いだ意味である。だが、本譜は△3五歩から歩を持たれて、△4四歩から桂損を余儀なくされた。先手は苦しそうだ。

一方の三浦はどうか。指了図で次の一手を指さなければいけないようでは、自信が持てない。

（内田　晶）

工夫したつもりでしたが、作戦は大失敗です」といって唇をかんだ。先手は▲7七桂と跳ねて▲8五歩や▲8五桂と指した。2手同時に指せれば先手がよくなる。しかし、図で▲7七桂と跳ねてしまうと△4五銀▲7八飛（第2譜）は黒沢の手は動かない。結局、休憩を挟む1時間20分の長考でいた。

千葉学ブックレット
房総の自然-1
千葉大学房総研究会が日本の縮図である千葉を斬る！　編集：千葉大学房総研究会　発行：千葉日報社
房総半島の地学散歩 ―海から山へ（第一巻）
地学的話題の宝庫房総半島の独自性と生い立ち、現行、将来を最新の資料に基づき紹介。
宮内崇裕 理学研究科地球科学コース 著
定価762円+税
お申し込み・お問い合わせ
㈱千葉日報社 広告局
9:00～17:00（土・日・祝を除く）
TEL.043-227-0066
FAX.043-222-3040
本社に直接お申し込みの場合は、本代と代引手数料800円がかかります。

きょうの歴史

3月12日

▽1948年　最高裁が死刑合憲判決

殺人罪などに問われ、死刑判決を受けた被告の上告審で、最高裁大法廷が、死刑は「（憲法が禁じる）残虐な刑罰に該当するとは考えられない」として死刑制度を合憲とする判断を下した。死刑は違憲と主張した被告の上告は棄却された。

▽1968年　モーリシャス独立

マダガスカル島の東のインド洋に位置する島国、モーリシャスが英連邦の一員として正式に独立した。第2次大戦後、次第に自治が拡大されていた。独立後は英国女王を国家元首とする立憲君主制だったが、92年に共和制に移行した。

きょうの人生指針

平成30年3月12日（旧1月25日）月曜日

今日＝奈良東大寺二月堂お水取り。

6輝＝先勝。急用や訴訟に用いると吉。ただし午後は凶。

12直＝たつ。建つを意味し、最高の吉日。神仏の祭祀、婚姻、開店、移転、棟上げ、旅行などすべて大吉。ただし蔵開きは凶。

28宿＝張（ちょう）宿。就職、見合い、神仏祈願、諸祝宴など何ごとにも吉。

生まれ月による運勢

1月　万事絶好調だ。とくに午前中が問題処理のチャンス。段取りをよく

2月　金運は好調だが投機はダメだ。利殖はあくまで安全コースを主体に

3月　ヤリクリ上手でヘソクリ倍増。金運はいまがピーク。ギャンブル吉

4月　低迷気味だ。大事な用件や大きな交渉はもう一度考えてから出直せ

5月　けん怠ムード一掃が課題。生活のパターンを再検討せよ。行動的に

6月　誠実さが何より大切。かけひきや小細工はすべてムダ。真正面から

7月　子どもの話が心を和らげる。帰宅は早く。一家団らんの機会を多く

8月　クヨクヨするだけ損というもの。いざとなれば何とかなる。安心を

9月　順風満帆だ。とくに重要問題の処理は日を選ぶこと。今日ならOK

10月　勢い余って勇み足の心配が。自信過剰は大ケガのもとに。控えめに

11月　焦ってはダメ。交渉ごとはオットリペースが成功の道だ。一歩ずつ

12月　ぼつぼつ曲がり角にきている。ムリをせず動きをセーブしてかかれ

購読申し込み ☎0120-16-7828　記事に関する問い合わせ ☎043-222-9215

新聞社がお手伝いをします
出版物のことならお任せ下さい
出版物のお見積りから編集、取材、原稿執筆などお気軽にご相談ください。
千葉日報社 業務支援部
043(227)0066